

令和6年度環境省ごみのポイ捨て・発生抑制対策等モデル事業

目的・背景

宮島は指定90周年を迎える瀬戸内海国立公園の一部であり、原始林など豊かな自然と、世界文化遺産にも登録された厳島神社をはじめとする日本文化が織りなす景観が広く親しまれているが、昨今のインバウンド急増によるポイ捨てによる景観悪化やシカへの健康影響だけではなく、飲み残しの大量発生、ごみ箱の不足による観光客満足度の低下等が懸念されている。今後も美しく誰にでも愛される宮島を目指してIoTを活用したSmaGOを新規設置し、実証実験を試みた。

事業概要

- デジタルサイネージやデジタル周遊マップと連携した、適切な情報発信によるマナー違反に対する啓蒙（デジタルマップ上に新たに「IoTスマートごみ箱の設置案内を表示」し、ごみ箱の周知とともに、トイレや街路の混雑状況を可視化）
- IoTスマートごみ箱の設置並びに誘導施策に基づくポイ捨て・置き捨てごみ抑制
- ナッジやインフォグラフィックス、飲み残し専用BOXの活用による適切な分別排出の促進

今後の展望

- 実証実験の一定の効果を得て、今後も継続設置を決定。
マナー違反への啓蒙、ポイ捨てや置き捨てごみへの抑制効果と観光地における分別排出・ペットボトルの3分別の推進効果検証を継続実施予定。
- IoTごみ箱による満杯時のメール発信を活用した更なる効率的な回収オペレーション運用の実現。
⇒ 千年先もいつくしむ宮島へ

実施主体	BIPROGY株式会社
実施場所	廿日市市
活用技術	IoT、LTE
支援事業	令和6年度環境省ごみのポイ捨て・発生抑制対策等モデル事業

課題解決へ ～環境省の実証事業採択～

環境省「ごみのポイ捨て・発生抑制対策等モデル事業」への採択決定
環境保全と観光振興の両立に向けた、サステナブル・ツーリズムの実現へ



宮島 MIYAJIMA
千年先も、いつくしむ。

日本で最初の国立公園として指定され、今年指定90周年を迎える瀬戸内海国立公園の一部である宮島で観光地でのごみ対策における、**先進的事例創出**を目指します。

みやじまそぞろあるきスタンプラリー

■ 2024年10月1日から10月31日の間、観光周遊とマナー啓発を促す、デジタルスタンプラリーを実施



主催：BIPROGY株式会社
共催：宮島口みらい協議会 後援：廿日市市
参画店舗数：23店舗
・店舗スタンプ 3個
・SmaGOスタンプ 2個
・動画視聴スタンプ 1個 計6個GETで参加賞

